

119番通報メモ

住所・建物の名称	
目 標	
氏 名	
電 話 番 号	

※ 「目標」とは、目印となる大きな建物、多くの人を利用する場所、公共の建物などをいいます。

受話器を上げ、局番なしで「119」をダイヤルします。通報をすると、以下の例のように119番受付員が必要なことを順にたずねますので、それに応じる形で、落ち着いてはっきりと正確に答えましょう。

◎通報例

119番受付員	通 報 者	
	火災の場合	救急の場合
火事ですか、救急ですか	火事です	救急です
場所はどこですか	新居浜市〇〇町〇丁目〇番です	
何が燃えていますか どうしましたか	〇〇が燃えています	〇〇（だれ）が 〇〇〇〇（どうした）です
あなたの名前と今かけている 電話の番号を教えてください	私の名前は〇〇〇〇です 電話番号は〇〇-〇〇〇〇です	

- 通報内容や通報される方の状況によって、119番受付員の問いかけが異なる場合があります。
- 場所を伝える際、目標のみでは場所の特定が困難です。住所を伝えることが必要です。
- 携帯電話から通報する場合、通報後はしばらく電源を切らずにその場にいてください。消防署から問い合わせをする場合があります。

実際に火災に見舞われた時や家族がケガや急病の時は、気が動転し、落ち着いて通報ができなくなることがあります。しかしながら、あわてて一方的に話すと、正確に伝わらないうえ、時間もかかります。自分だけで一気に話そうとせず、落ち着いて聞かれたことに正確に答えていくのが良い方法です。

ただし、あなたが通報している場所にまで煙や火が拡大するなど危険が迫っている場合は、すぐに避難しましょう。